

みずほCustomer Desk Report 2018/04/23号(As of 2018/04/20)

国際為替部 為替営業第二チーム

【昨日の市況概要】

	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY	公示仲値	107.53
TKY 9:00AM	107.45	1.2343	132.62	1.4083	0.7721
SYD-NY High	107.86	1.2353	132.95	1.4088	0.7732
SYD-NY Low	107.36	1.2250	132.05	1.3996	0.7655
NY 5:00 PM	107.64	1.2290	132.30	1.4007	0.7669
NY DOW	24,462.94	▲ 201.95	日本2年債	-0.1300	1.00bp
NASDAQ	7,146.13	▲ 91.93	日本10年債	0.0500	1.00bp
S&P	2,670.14	▲ 22.99	米国2年債	2.4594	2.99bp
日経平均	22,162.24	▲ 28.94	米国5年債	2.8008	4.50bp
TOPIX	1,751.13	0.95	米国10年債	2.9593	4.67bp
シカゴ日経先物	22,100	▲ 60.00	独10年債	0.5885	▲ 0.65bp
ロンドンFT	7,368.17	39.25	英10年債	1.4790	▲ 3.55bp
DAX	12,540.50	▲ 26.92	豪10年債	2.8090	1.70bp
ハンセン指数	30,418.33	▲ 290.11	USDJPY 1M Vol	6.64	0.19%
上海総合	3,071.54	▲ 45.83	USDJPY 3M Vol	7.33	0.18%
NY金	1,338.30	▲ 10.50	USDJPY 6M Vol	7.80	0.10%
WTI	68.40	0.07	USDJPY 1M 25RR	-0.73	Yen Call Over
CRB指数	201.92	0.06	EURJPY 3M Vol	7.48	0.13%
ドルインデックス	90.32	0.38	EURJPY 6M Vol	8.00	0.10%

【昨日の指標等】

Date	Time	Event	結果	予想
4月20日	08:30	日 CPI/コアCPI/コアコアCPI	3月 1.1%/0.9%/0.5%	1.1%/0.9%/0.5%
	15:00	独 PPI(前月比/前年比)	3月 -	0.2%/2.0%
	18:30	英 サunders BOE委員 講演	「時間をかけず段階的に利上げすべき」	
	22:40	米 エバンス・シカゴ連銀総裁	「インフレの過度な上昇によるリスクは予期せず」	

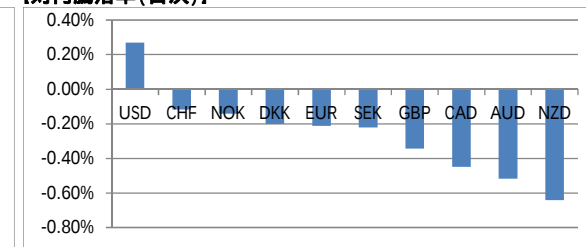
【本日の予定】

Date	Time	Event	予想	前回
4月23日	16:30	独 マーケットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	4月 57.5/53.7/54.8	58.2/53.9/55.1
	22:45	米 マーケットPMI(製造業/サービス業/コンポジット)	4月 55.2/54.1/-	55.6/54.0/54.2
	23:00	米 中古住宅販売件数	3月 5.55M	5.54M

【ドル円相場】



【対円騰落率(日次)】



【予想レンジ】

通貨ペア	USD/JPY	EUR/USD	EUR/JPY
想定レンジ	107.00-108.25	1.2200-1.2350	131.50-133.50

【マーケットインプレッション】

前週金曜の海外時間のドル円相場は底堅い展開。米国債利回りが続伸する中、107円台半ばから一時107円86まで上昇するも、株価が下落基調となると、その後は戻り売り優勢となり、107円66で越過した。本日のドル円もリスクセンチメントに改善が見られる中、108円台回復を視野に入れた底堅い展開が予想される。一方で10年米国債利回りが再び3%を目指す水準まで上昇してきていることから、金利上昇を嫌気したりリスクアセットへのポジション調整が顕在化する場合、円買いが優勢になる展開も想定され留意の要。

東京	朝方に本邦3月CPIの結果が発表されたものの、マーケットの反応は限定的となり東京時間のドル円は107.45レベルでオープン。前日海外時間に米金利が上昇したことや、この日は五・十日にあたり本邦実需勢によるドル買いブームが散見されたこと等から107円台半ばでの底堅い推移に。その後、目立った新規材料のない中で買いが強まり一時107.73まで上昇。しかし、日経平均株価が前日比マイナス圏まで沈んだこと等からドル円も伸び悩み、動意に乏しい推移が続いた後、107.57レベルで海外へ渡った。(東京15:30)
ロンドン	ロンドン市場ドル円は米長期金利の上昇とともに上値を探る展開となった。107.57レベルでオープン。米中貿易摩擦やシリア情勢懸念の後退に米長期債が売られ長期金利は上昇した。この金利上昇を受けてドルは買われ高値107.71を付けた。107.62レベルでニューヨークへ渡った。ボンドドルは5月の英利上げ観測後退から下落した。1.4076レベルでオープン。「時間をかけずに段階的に利上げすべき」とのサunders英中銀委員のコメントを受けて、高値1.4083を付けた。しかし、前日のカーニ・英中銀総裁の「最近の経済指標が強弱混交している。MPCに見解の相違がある」との発言を受けて、5月10日の英中銀による利上げ観測が後退したことや全般的なドル買いにボンドは1.4037まで下落し、安値圏のままニューヨークへ渡った。(ロンドン・トルフィ-00531 444 179 西海)
ニューヨーク	効派で知られるマスター・クリブランド連銀総裁の「インフレは急上昇しないことが予想され、大幅な利上げに反対」とのハ派と取れる見解が伝わるものの、ドル円の反応は限定的となり、本邦輸入企業のドル買い等から107.73まで上昇し、107.62レベルでNYオープン。朝方は、主要な米経済指標の発表が予定されていない中、ドル買いが再び強まったことから、ドル円は107.86まで上昇する。しかし、このレベルでは売り意欲も強く、ECBはQE終了判断については7月まで待つとのヘッドラインが伝わったことからユーロ円が下落する動きも加わり、反落する。その後は週末を控え、調整のドル売りが優勢となったことから107.51まで下落する。午後は、週末を控え積極的な取引は控えられ、狭いレンジでの推移が続く。107.64レベルでクローズした。一方、海外市場でドル買いが強まったことから軟調なユーロドルは、1.2305レベルでNYオープン。朝方は海外市場の流れを引き継ぎ、徐々に上値を切り下げる中、前述のECBに関するヘッドラインが伝わり1.2250まで下落する。その後は週末を控え閑散な推移が続く。1.2290レベルでクローズした。(NY井上)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

担当:末木・森谷